

# 平成31年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

東員町教育委員会

## 【調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 【調査の概要】

○実施校数 ○実施児童生徒数

小学校（6校）・6年生：220人

中学校（2校）・3年生：207人

○学力に関する調査 ○学習や生活の状況・学校の取組に関する調査

小学校：国語・算数 児童アンケート

中学校：国語・数学・英語 生徒アンケート

## 【調査結果の取扱い】

本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないように各教科別に各領域の正答率をレーダーチャートで記載しています。

調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要と考えます。

## 学力調査の検証にかかる東員町の教育努力目標

### 【確かな学力】

○小学校

- ・学んだこと（基礎基本）を生かしながら、仲間とともに新たな課題を乗り越える力を育みます。
- ・対話力や活用力を生かしながら、課題を克服できる力を育みます。

○中学校

- ・目標に向かって、計画的・継続的に学習できる力を育みます。

### 【豊かな心】

○小学校

- ・仲間とともに学び合うことに喜び感じられる心を育みます。
- ・困っている子に気づき、相手の立場に立ち、考えられる心を育みます。

○中学校

- ・自分の将来や生き方について考えられる力を育みます。
- ・社会の発展に貢献しようとする心や力を育みます。

### 【健やかな体】

○小学校

- ・規則正しい生活習慣と、進んで運動したり外遊びをしたりする習慣を身につけます。

○中学校

- ・規則正しい生活習慣を確立し、体力をつけようとする力を育みます。

国語

国語

算数

算数

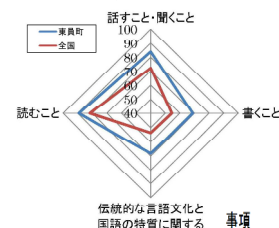
数学

数学

英語

英語

### ○小学校



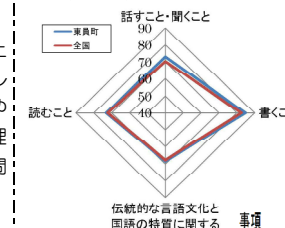
#### 【全体的な傾向と課題について】

4領域ともに全国を大きく上回る高い正答率である。しかしながら、「書くこと」の“目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題”において正答率がやや低く、課題が見られる。

#### ★指導のポイント★

- ・学習課題に応じて、調べて分かったことを簡単にまとめ整理したり、自分の考えの理由としてふさわしい事柄を選んだりしながら、自分の考えを明確にして書く学習

### ○中学校



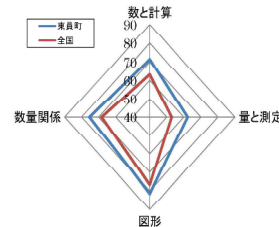
#### 【全体的な傾向と課題について】

4領域ともに全国平均をやや上回る正答率である。全体的に無解答率が低く、特に書く力を必要とする問題において、自分の考えを表現する力の向上が見られる。しかしながら、“文章の展開に即して情報を整理し、内容を伝える問題”において、正答率が55%と課題が見られる。

#### ★指導のポイント★

- ・文章を読み取る際に、文章の構成や展開、表現の仕方について、その工夫や効果を考えながら読む学習

### ○小学校



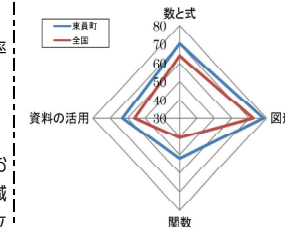
#### 【全体的な傾向と課題について】

4領域ともに全国平均正答率を上回り、昨年に比べて「図形」「数量関係」に改善が見られ、特に図形は高い正答率である。しかしながら、「数と計算」における“計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法が成り立つ性質を記述する問題”では、正答率42.1%と課題が見られる。

#### ★指導のポイント★

- ・計算をする際に、その計算が確実にできるようにするとともに、計算に関して成り立つ性質を活用し、能率的にするための工夫について考える学習

### ○中学校



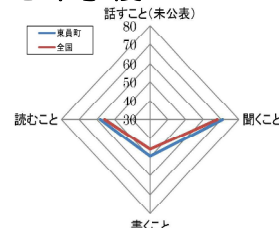
#### 【全体的な傾向と課題について】

4領域ともに全国平均正答率を上回り、昨年全国よりも低かった「関数」「資料の活用」に改善が見られる。しかしながら、“資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する記述式問題”の正答率が46.9%と低く、無解答率も12.6%と高いことが課題である。

#### ★指導のポイント★

- ・統計資料などにおいて、批判的な読みや考察を通して、データの分布の傾向を読み取り、その傾向について数学的な表現を用いて文章や言葉で説明する学習

### ○中学校



#### 【全体的な傾向と課題について】

すべての領域で全国を上回る正答率である。問題別に見ると、「聞くこと」「読むこと」における“日常的な話題について、情報を正確に聞き取ったり、語句や文で書かれたものの内容を正確に読み取ったりする問題”において、全国平均正答率を約10%上回る正答率であり、十分な学習理解ができていると考えられる。しかしながら、“聞いて把握した内容や書かれている内容に対して、自分の考えを書く問題”“与えられた情報について考えを整理し、文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く問題”などの記述式問題において、正答率が低く課題が見られる。

#### ★指導のポイント★

- ・目的・場面・状況に応じて、どのような内容を聞き取るべきか考えながら聞き取る学習
- ・文章の構成を意識しながら、考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く学習
- ・調べたことを説明したり報告したり、絵や写真等の様子を表現したりする活動を通して、3人称を用いて客観的に事実を伝える学習

レーダーチャート図の見方：各教科で学習指導要領に示されている領域の正答率をグラフ化したものです。それぞれの領域の正答率が高いほど、グラフの形はバランス良く大きくなる傾向にあります。